



ニュースリリース

平成 23 年 12 月 26 日  
千葉大学医学部附属病院

がんの予防・早期発見・治療について、市民に分かりやすく解説  
—千葉大学医学部附属病院主催 市民公開講座を開催—

日本人の死因の第一位を占めるがん。有名人や身の回りにもがんで命を落とした方々は沢山いるはずです。日本人のおよそ 2 人にひとりががんになり、3 人にひとりががんで死ぬのが現実なのです。千葉大学医学部附属病院では毎日沢山のがんに苦しむ患者さんを治療しています。今回の市民公開講座では、「知っておきたいがんの話」をテーマに、①がんにならないための予防方法、②がんになっても早期発見・早期治療するための方法、③万一がんになってしまった場合の治療方法について簡単に解説し、④千葉大附属病院が誇るがん診療体制について、あわせて、⑤病院中心の治療から在宅でもできるようになった緩和ケアについても市民目線でお話しします。ご来場の方々からの質問にもお答えする予定です。会場入り口では、がんの患者会によるブース出展も行い、がんに悩む患者さんのご相談も受け付けます。

1. 日時：平成 24 年 1 月 22 日（日）13：00～16：30  
（患者会ブース出展は 12：00～16：30）
2. 場所：千葉市民会館 小ホール
3. 講演タイトル・演者：別紙チラシ参照

本件に関するお問い合わせ先  
千葉大学（先端化学療法学・担当：野崎）  
Tel：043-260-2806 Fax：043-260-2815  
E-mail：gannpro@office.chiba-u.jp